

田母神論文とマスコミ

大田支部 篠原 睦美

田母神俊雄前空幕長の論文や発言について、茨城新聞は「前空幕長参考人招致」と題した論説を発表(11月12日付)している。文中に「安倍晋三官房副長官の自宅を訪ね、イラク派遣で武器使用の制限緩和を“直訴”した幹部自衛官もいた。さらに制服組が手分けし与野党議員の間を回るようになった」とある。浅学であるため、このような動きがあったことをはじめて知って驚いている。「制服組」の所属と階級、名前、人数等を茨城新聞社はつかんでいるのだろうか。戦前は軍隊の中に秘密結社が結成され、テロやクーデター事件をおこしているが、「制服組」とは不気味な形容だ。

さらに言えば、「与野党議員」の反応によって政局は動いたのか。自衛隊について、わたしたちが知らされていない情報がまだまだあるのではないかと疑問がふくらむ。

同じころ、教科書出版会社の方と話す機会があった。自衛隊の発言力が増してきたのは次の三点がポイントになったという。一つは村山内閣が自衛隊を合憲としたとき、二つ目は防衛省に昇格したとき、最後は自民党の対抗政党が小沢一郎氏が党首である民主党であること、と語った。読売新聞が田母神論文にふれながら「アジア・太平洋戦争」を「昭和戦争」と表記していたことについて質問したが、「昭和戦争」は「特異な表記」であり、教科書執筆者も使用しないと述べていた。いずれにしても、マスメディアの報道に注意深くならなければならない。

田母神論文が問題となったところ現代社会の授業は、「憲法と自衛隊」を扱っていた。「シビリアン・コントロールは、文民統制と訳す。文民とは非軍人のこと」「戦前は軍部大臣現役武官制によって軍隊が暴走した」ため「文民統制」の徹底が大事などと説明した。

アメリカ発の金融恐慌の影響もあって、いっそう求人が減っているが、これまでに自衛隊入隊者がいないことにはつととしている。



改憲批判(1)

石岡平和の会 山口 裕

第2次世界大戦は、人類史上最も凄惨な大規模殺りくと破壊をもたらしました。その戦争の発動者は、軍国主義日本とナチス・ドイツ、その尻馬に乗ったファシズム・イタリアでした。日本はまず柳条湖事件を発端として中国侵略、そして東アジアに勢力範囲を拡大しましたが、米英蘭をも敵にまわすアジア・太平洋地域に戦線を拡大し、力尽きて敗北しました。

その間、中国をはじめ、東南アジア諸民族に惨害をもたらしました。自国民に対しても、数100万の犠牲と塗炭の苦難と疲弊を伴って、惨敗しました。特にその終末は、全土主要都市の焦土化と、広島・長崎の原爆による一瞬壊滅でした。人類絶滅可能な窮極的凶悪兵器開発の途を開いてしまった責任は日本にもあります。

この民族的、国家的な、悲憤と苦難に満ちた体験から必然的に生れたのが、不再戦の国家体制を維持するための、戦争放棄という憲法条項です。この条項は、第一次大戦のヨーロッパの惨状体験から生れた不戦条約の理念にもとづき、一国の憲法の条項として掲げた、明瞭遠徹な宣言です。これこそ絶対国際平和の未来志向の道標となるべきもので、戦乱をひきおこし、人類に最大の不幸をもたらした日本が、その贖罪の意志を鮮明にし、国際的名誉回復を得る、唯一の途です。歴史には時効がありません。戦後63年経てば、今の政治家は、戦争を知らず、結構に育ってきた二世に占められ、憲法を古臭いと思うようになるでしょう。戦争できる普通の国家になりたいなどという政治もあります。さきの大戦末期、学窓から軍隊に動員され、呉・広島の高橋場、阿鼻地獄の中で血まみれ、放射被爆から生還した体験者にとって、彼等は何と愚かなことを考えるのだろうか、憤激を覚えます。(続く)

.....

争責任をしてこなかったところに、従軍慰安婦・教科書問題・田母神発言等々が起こってくる。国民としての戦争責任をみんなで話し合っていくところにアジア諸国の人たちと本当の友好が生まれるのではないだろうか。(伊)



歓迎!! 11月からの

新入会員のみなさんです

ともに楽しく、平和のために頑張っていきたいと思います。

- 藤枝 憲一(62歳) 内原・友部平和の会
- 笹嶋 武(64歳) ”
- 笹嶋 富士子(62歳) ”
- 田口 正敏(60歳) 鹿行平和委員会
- 山田 美枝子(60代) 守谷平和の会



忘れるな!

「ニイタカヤマノボレ1208」

連合艦隊司令部から南雲機動部隊に打電。1941年12月8日真珠湾奇襲攻撃、ここに太平洋戦争始まる。中国での「焼きつくし、奪いつくし、殺しつくす」の三光作戦。朝鮮での植民地支配。ガダルカナル玉砕。フィリピン玉砕。白骨街道化したインパール作戦。住民を巻き込んだ沖縄戦。本土大空襲。最後に広島・長崎原爆投下。

逆上る1931年の満州事変。37年の日中戦争。国内では国家総動員法。大成翼賛会。産業報告会。民主主義・市民的自由の弾圧など戦争国家体制。アジア諸国の人々と日本国民をこれだけ傷つけたアジア・太平洋戦争。

無謀な侵略を繰り返した軍部に直接的な責任は当然。しかし、それだけでは戦争責任の問題は解決しない。当時の国民はどうだったのか。勝った勝ったと提灯行列。切り取った中国人の首を見て狂喜した日本人。国民としての戦

平和かわら版

No.519
月3回 発行
2008.12.5

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp





会員から出された 意見・要望を重視

- 守谷平和の会、総会開かれる -

去る11月9日(日)、守谷平和の会では第3回の総会が開かれ、来年度の運動方針が確認されました。

○「核兵器廃絶の動きが世界的に広がってきている。ドイツなど原子力政策をやめる方向で考えている。日本でも、原爆症の認定、核兵器廃絶で力を合わせて強めていくことが必要です。」

○「毎年行われる平和大行進について、守谷は歴史的な流れの中でやってきた。取組む段階で実行委員会をつくり進めたいのではないか。そのなかで日常的に学習し、活動を強め広げていくべきだ。」

○「今年の“百里基地を学ぼう”の学習会に参加したが、こうした歴史の勉強をするのもいいことだと思います。」

○「平和行進で茨城県の通し行進者で歩いてもいいと思う。」

○「原子力発電は不安。学習会を開いたらどうか」

○「守谷市は“非核宣言都市”となっているが、それらしき企画は何も考えていない。平和の会から提案すべきだ。」

ここには載せきれませんが、参加者全員から発言してもらうことができました。皆さんから出された意見・要望を大事にして運動を進めていけたらと思います。

(「守谷平和の会ニュース」より一部抜粋して、
県事務局で編集させていただきました。)

「百里基地の民間共用化」パンフの改訂版

県平和委員会では、2001年に「茨城の平和運動No.4 百里基地の民間共用化」のパンフを発行しておりましたが、その後のうごき、状況に合わせて今回、若干の修正・加筆をして改訂版を出すことになりました。現在編集中ですが、出来上がりましたら、学習会等、地域でもご活用いただけたらと思います。必要部数をお知らせくだされば、無料でお配りいたしますので、県事務局までご連絡ください。

百里基地にはどんな戦闘機が配備されているのか。「民間共用化」はそもそもどんな発想で、どんな問題点を含んでいたのか。なぜ自衛隊の基地強化になるのか等が、B5版10頁でやさしく簡潔に書かれています。

最近読んだ本

「昭和陸海軍の失敗」

- 彼らはなぜ国家を破滅の淵に追いやったのか -

文春新書 定価740円+税 07年12月第1刷発行
08年2月第2刷発行

文芸春秋で大反響を呼んだ座談会を収録したもの。田母神氏はこの本を読まなかったのかしら、読んだけど無視したのかな。

日本近代史や現代史について論文を書こうとする人は、「小熊英二氏の大作」も参考にすべきでしょう。

<民主と愛国>新曜社 定価6300円+税

02年10月第1刷発行、04年3月第9刷発行

この本は大仏次郎論壇賞、毎日出版文化賞、日本社会学会奨励賞などを受賞しています。これも田母神氏は参考にした様子がないですね。しかし、彼は決して特殊な人物ではありません。愛煙家の中にも喫煙を正当化するために病気と喫煙に因果関係が証明されているわけではないとか、ある種の健康増進の効果があるなどと医学的根拠のない説を振りかざす人がいます。こういう人は自分の気に入らぬ意見に耳を貸さうとしないので、議論は平行線をたどり説得はほとんど失敗します。

笑いごとではありません。無能な人材が出世して、良識派が追いやられる組織は必ず破綻します。それが国家社会に関わる組織なら被害は市民全般に及びます。何事も成功体験より失敗事例に学ぶ謙虚な姿勢が必要でしょう。

みとみなみ平和の会 神長 壮行



イベント案内

戦争体験を聞く・平和の集い

と き 12月14日(日)午後1時30分開会

ところ 石岡市 山王台公民館 参加費500円

主 催 石岡平和の会

連絡先 090-1886-0931(山口)

1923年生まれ、自身も従軍し、現在は反戦の語り部として活躍する磯清十郎さんに語ってもらいます。おいしいスイートも用意してお待ちしています。

ひたちなか九条の会

12月の「9の日行動」

と き 12月8日(月) 午後4時~5時

ところ 勝田駅 主催:ひたちなか九条の会

「太平洋戦争開始67周年・2008年・12・8 平和を守る母親行動」として、母親連絡会の行動にあわせて「九条の会」も勝田駅で宣伝行動を行います。

「旧陸軍銚田飛行場」を通して

戦争を考える—写真パネル展—

と き 12月10日(水)から26日(金)午前9時~午後4時半

ところ 銚田図書館2階(銚田市役所構内)

主 催 憲法9条の会・銚田結成準備会

連絡先 0291-33-3193(代表 野口)

憲法について考えるきっかけの1つともなり、さらには未来を担う子どもたちの心に届くことを願っております。

事務局便り

過日、笠間市の稲田石資料館「石の百年館」に行きました。さほど大きくもない建物ですが、色取り取りの鉱物資料に見入ってしまいます。石の切り出し作業を解説したビデオを観ていたら、八月に広島で見たあの記念碑が、広島平和公園の献花台のあのアーチはここ稲田から切り出されていたのでした。現場に向いて作業を見守る遺族の方たち。お土産に、その時の欠けら、平和への祈りとともに頂いて帰りました。(教)